

日本のみんなの力を集めてサイバーセキュリティの結節点を構築
CYNEXアライアンス参画組織随時募集中！

アライアンス参画組織数 (2025年5月15日時点)

2021年4月に発足した CYNEX は、アライアンス体制へ移行し、2023年10月のCYNEX アライアンス発足後、2025年度は現在 91 組織が参画しています。参画組織と協力し、各 Co-Nexus の活動を本格化していきます。

	Co-Nexus A	Co-Nexus S	Co-Nexus E	Co-Nexus C
民間企業	10	7	2	17
教育機関	10	4	1	32
官公庁	12	3	0	21
その他	6	1	1	1
各Co-Nexus小計	38	15	4	71
ユニーク組織数				91

▲ 各 Co-Nexus 別の参画組織数

Co-Nexus A

STARDUSTを核とした共同解析と解析者コミュニティ形成

Co-Nexus A内コミュニティ活動の活発化

「解析者コミュニティ」は、2025年度も年4回の定期会合と定常的なオンラインコミュニケーションを軸として活動を推進します。また、Co-Nexus Aの各種プロジェクト(脅威情報分析プロジェクト「LETTICE」やWeb媒介型攻撃大規模観測プロジェクト「WarpDrive」)においてもコミュニティ活動を進めています。各活動で生成された脅威情報、技術やデータセットについて解析者コミュニティで情報発信や共有が行われるなど、Co-Nexus A内の各種コミュニティ活動およびその連携を通じて、参画組織間の議論や知見の共有が活発化しています。

▶ 脅威情報分析プロジェクトLETTICEとは

Co-Nexus AおよびSの参画組織の有志を選抜してチームを構成、脅威情報の収集・共同分析に取り組んでおり、2024年度からは参画組織に向けた情報発信・共有を開始しました。



▶ WarpDriveのコミュニティ活動とは

WarpDriveプロジェクトのコミュニティ活動として、2023年度より「WarpDrive Workshop」を年1回実施。2025年度には第3回を開催予定です。参画組織が一堂に会し、プロジェクトの研究開発成果の共有、プロジェクトの方向性等について集中的に議論します。



2024年度開催風景(神戸)

Co-Nexus S

高度な解析者の育成とCYNEX独自の脅威情報の生成・提供・発信

高度SOC人材を続々と輩出

産学官様々な組織から受講生を受理、高度SOC人材の育成を目的とした研修プログラムを実施しています。自主学習型オンラインSOC研修システムを用いたプログラムで学習を進める「オンラインコース」とCYNEX解析チームで実務に携わる「OJTコース」があり、2024年度までにオンラインコースでは20組織56名、OJTコースでは3組織5名を育成しました。2025年度も各コース実施中です。

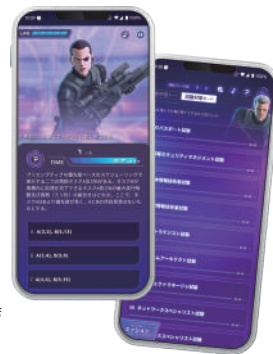
SOC人材育成プログラム		コース名	期間
		オンラインコース	半年
OJTコース		ダークネット分析コース	1~2年
		ライブネット分析コース	
		アーティファクト分析コース	

STARDUST NxtGenの貸与とCUREの開放

主に標的型攻撃を対象として人間の攻撃者を誘い込むサイバー攻撃誘引基盤「STARDUST NxtGen」の貸与や、NICTの保有するサイバーセキュリティ関連情報を一元的に集約して異種情報間の横断分析を可能にするセキュリティ情報融合基盤「CURE」の開放を、2025年度も引き続き実施し、参画組織の脅威情報分析、研究開発に貢献しています。

タチコマ・セキュリティ・エージェントゲーム機能を一新！

ユーザー参加型のWeb媒介型大規模観測プロジェクト「WarpDrive」では、攻撃機動隊SAC_2045シリーズとコラボした「タチコマ・セキュリティ・エージェント」のゲーム機能を一新し、セキュリティやITに関するクイズの問題数を3,000問以上に大幅増加。体系的・継続的に学習できる様々な仕組みを導入しました。



© 土郎正宗・Production I.G/ 講談社・攻殻機動隊 2045 製作委員会



タチコマ・セキュリティ・エージェント

ダウンロードはこちらから

Download >>>>>



CYNEX 解析チームで生成した脅威情報の発信・提供を随時実施

CYNEX解析チームで収集・分析・生成した独自の脅威情報は、ブログ・SNS・観測レポートの公開やCo-Nexus A解析者コミュニティでの共有、関連機関への情報提供等、随時発信・提供を行っています。2024年度は海外製WiFiルーターの脆弱性を悪用する攻撃活動を発見。解析チームから製造ベンダやNOTICEプロジェクト、JPCERT/CCをはじめとする関係組織へ提供し、コーディネーションを実施しました*1。

*1 ASUS製WiFiルーターのAiCloud機能の脆弱性を悪用する攻撃に関する注意喚起
https://blog.nictcr.jp/2025/04/asus_aicloud/

独自の脅威情報を発信中!!

- ▶ NICTER Blog
- ▶ X公式アカウント(旧Twitter)
(8000フォロワー以上)

NICTER Blog



X公式アカウント



日本のみんなの力を集めてサイバーセキュリティの結節点を構築
CYNEXアライアンス参画組織随時募集中！

Co-Nexus E

国産セキュリティ製品のテスト環境提供による実用化支援

国産セキュリティ製品・技術の検証

長期に及ぶ機能検証・非機能検証、海外有力製品との比較検証など、製品・技術の高度化や実用化に繋がる検証とフィードバックを実施しています。2024年度までに検証した製品・技術は6社8製品に上り、各製品・技術に対し平均200日以上にわたり検証を行いました。2025年度も国産セキュリティ製品・技術の検証希望を受付中です。

種類	件数
製品化済み技術	5
製品化前技術	3

検証要望例

- ▶ アプライアンスの長期運用
- ▶ 検知アルゴリズムの精度検証
- ▶ 分析軸の追加など新機軸の検証
- ▶ 新規、亜種マルウェアなど脅威変遷への適応検証

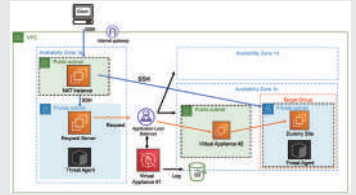
作業の自動化による運用・検証効率の向上

Co-Nexus E では、製品や技術の検証作業の効率化を目指し、作業の自動化を推進しています。2024年度、特定マルウェアの検知技術の検証では、検体の選定・取得から解析投入までのプロセスの自動化を図り、従来は週3回程度であった検証が日次で実施可能となりました。

各製品・技術ごとに検証環境をカスタム構築



検証に使用しているIoT機器(例)



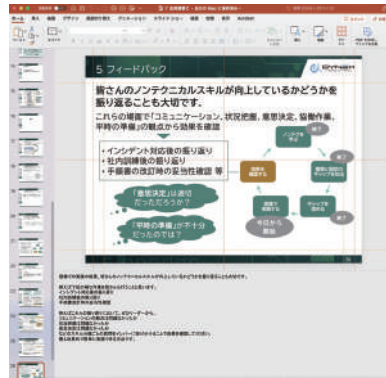
検証用に構築したクラウド環境(例)

Co-Nexus C

演習基盤開放による国内セキュリティ人材育成事業の活性化

CYROP オリジナル演習コンテンツの拡充

NICE Framework に基づいたCYROPオリジナル演習コンテンツの開発を継続、2024年度は新たに11種類の演習を開発し、CYROPで提供する演習コンテンツは90種類まで増加しました。これらのコンテンツは、Co-Nexus C に参画する教育機関の講義のほか、民間企業の演習事業等でも利用され、2024年度は85種類の演習・講義で利用されました。



スライドノート部分には、全ページにわたり
目標 このスライドで伝えたいこと
説明の流れ 説明の順序の例
ポイント このスライドで重要な部分
 を全ページに記載する等、
 講師マニュアルも充実しています。

オリジナル演習コンテンツ 提供スライドの特長

Co-Nexus S のSOC人材育成で利用の 自主学習型オンライン研修コンテンツ提供開始

高度SOC人材育成で利用している、自主学習型オンラインSOC研修コンテンツについてCo-Nexus S と連携して運用を開始し、Co-Nexus C の参画組織に対して研修コンテンツ単体の提供を開始しました。参画組織での外販(再販)も可能とし、広く活用が進んでいます。

自主学習型オンラインSOC研修コンテンツ



CYROP 認定講師制度開始に向け準備中

参画組織から寄せられた「講師・チューターの役割を担う人材が不足している」との声を受け、講師・チューター育成演習コンテンツを開発し、受講者に対するCYROP認定講師制度(仮称)の開始を目指しています。2024年度は提供予定の演習コンテンツをCo-Nexus C 内で試験実施し、効果測定を行いました。その結果を踏まえ、2025年度から参画組織の職員を対象として認定講習を提供します。



試験実施 演習風景

